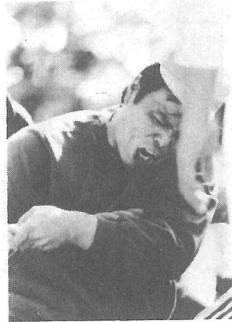


# 青空の下ゴド!

## 優勝 〈町民体育祭〉

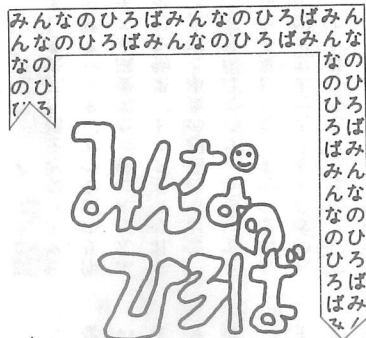


また、昼休みには婦人会のみなさんの踊り、大総小児童によるマステームや横中生徒のプラスチックの演奏も披露され、参加者の



順位	ブロック
1	坂田四部落・小堤
2	北清水
3	上町

心をなごませ、大会に色どりをそえてくれました。



身近な話題や、部落での催し物などがありましたら  
 広報係(2-1115)までお知らせください。  
 掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

### 横芝の俳壇

#### 横芝句会十月例会

土屋 栗水  
 成田 榛子  
 宇井 芝童  
 藤代 ゆう  
 向後 雅子

### 横芝の碑

#### 谷台安養寺の句碑

(一一八)

谷台の集落は、北側に連なる丘陵で多古町との界を距て、この丘陵の裾を東西に貫いて通る道路の両側に展げています。  
 この道路の中央よりやや西に寄った辺りの北側に、安養寺という寺があります。この寺の石段を上った辺りの左側に、高さ一メートルほどの自然石風の碑が本堂に向かって建っています。  
 この碑は、文化、文政から、天保、弘化(一八〇四〜一八四七)にかけて俳諧の道に勝れ、多くの句友と門人を持って活躍されたと

池田 和代  
 高品 虎洞  
 高品 虎洞  
 生きて来て蒼つり草の穂にも似て  
 木下石果子  
 芭蕉忌や枯木に黙しめるからず  
 安井ゆづる  
 一畝を入れて去にけり落水  
 佐久間実枝子  
 鶴鶴や宿は河原につづきあて  
 佐久間久子  
 母の忌や栗飯炊いて徳ぶ夜  
 次回  
 十二月六日(月)  
 冬の雨 寄鍋

いう雪堂先生追慕の碑なのです。  
 先生は、天明三年(一七八一)に武射郡谷台に生まれ、幼いころは喜七と呼ばれ、後に市左衛門と改め、俗に宇一と呼ばれていました。小さい時から明るい性格で気転もきき、よく都都逸風の歌などを作っては人を楽しませ、自分も喜んでたりしていました。そうした嗜みがいっしょに俳句の道を志すようになり、雪堂と号してました。明るく軽妙な、いわゆる誰にもわかりやすい吟風は、老若男女を問わず、誰からも愛され、近隣の村々